

# NEWS LETTER

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク  
Japan Organ Transplant Network

Vol.22  
2018

# NEWS LETTER

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク  
Japan Organ Transplant Network

Vol.22  
2018

## 目次

2019年度の登録更新手続きが開始となります。

### 1. 臓器提供・臓器移植の現状

臓器提供件数の推移と取り組み .....	1
臓器移植件数の推移と成績 .....	3
小児脳死下臓器提供と移植の現状 .....	4

### 2. 移植者の現状

心臓・心肺同時移植 .....	5
肺・心肺同時移植 .....	5
肝臓・肝腎同時移植 .....	5
脾臓・脾腎同時移植 .....	6
小腸移植 .....	6
腎臓移植 .....	6

### 3. レシピエントの個人情報の取り扱いと利用についてご了解いただきたいこと .....

### 4. 財政状況の報告(平成29年度) .....

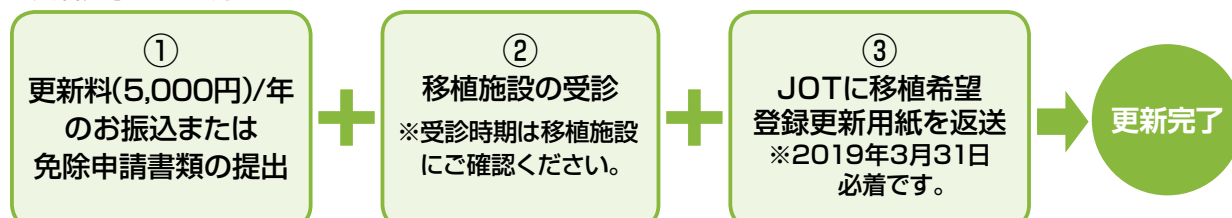
### 5. 普及啓発の概要 .....

# 2019年度の登録更新手続きが開始となります。

2019年度の更新手続きは、2018年3月31日以前に移植希望登録された方が対象となります。今後も公益社団法人日本臓器移植ネットワーク(以下JOT)に臓器移植の登録を継続されるかどうかの確認ですので必ず、**2019年3月31日まで**に下記3点の手続きを行ってください。

**下記、①②③がJOTにて確認でき次第、更新の手続きが完了いたします。**

＜更新完了までの流れ＞



## ①更新料(5,000円)のお振込みまたは免除申請書類の提出

住民税の非課税世帯は、更新料(5,000円)が免除となります。

**「免除申請書」にあわせて、下記の書類が必要となります。**

＜更新料の免除申請に必要な書類＞

費用免除対象者世帯	必要書類(到着日に発効後3カ月以内の原本)	発行機関
生活保護世帯 ※右記の書類が必要	生活保護受給証明書	福祉事務所
住民税の非課税世帯 ※右記の①～②の全ての書類が必要	①「世帯全員」と記載のある住民票(人数に関わらず) ②「世帯全員」の非課税証明書(年齢に関わらず)	市区町村役場

## ②ご自身が登録されている移植希望施設の受診

※ご自身にて移植施設に連絡をとり、移植施設の移植担当医師に医学的状況、移植希望更新継続の可否についての評価を確認してください。移植施設からJOTへ受診完了の報告がされると更新可能となります。移植施設の受診にあたっては、受診日時・予約の要不要を移植施設へ直接、ご確認ください。

## ③移植希望登録更新用紙の返送

(左下部:更新料払込取扱票、左裏面:免除申請書、右半分:移植希望登録更新用紙 ※切り取ってご使用ください)

※同時移植登録の方は、登録臓器それぞれ更新用紙の返信が必要です。

※手続き未完了のまま更新期限【2019年3月31日】をすぎると、2019年4月1日から手続きが完了するまでは移植の候補の対象外となります。また、2年間更新手続きを完了されなかった場合、登録は取り下げとなり、再度移植を希望される場合は、改めて移植登録【新規登録料30,000円】の手続きが必要となります。その場合、累積待機日数は0日となります。

更新手続きに  
関する  
お問合せ先

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク 情報管理グループ  
〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦12階  
TEL:03-5446-8807 (平日:9時~17時30分)

1

# 臓器提供・臓器移植の現状

## 臓器提供件数の推移と取り組み

1995年4月から2018年9月末までに、脳死下臓器提供件数は550件であり、心停止下臓器提供件数は1,644件でした(図1)。特に2010年7月の改正臓器移植法施行を機に、本人の書面による意思表示がない場合でも家族の承諾で脳死下臓器提供が可能になったため、脳死下臓器提供件数は大幅に増加し2017年は76件、2018年は9月末現在で51件となっています。また、心停止下臓器提供を含めた全体の臓器提供件数は2017年111件、2018年9月末現在で71件でした。

改正臓器移植法施行後の脳死下臓器提供464件(2010年7月17日~2018年9月30日)のうち、359件(77.4%)は本人の書面による臓器提供の意思表示がない事例であり、家族の承諾により脳死下臓器提供する家族が増えています(図2)。一方で、本人の意思表示があった104件(22.4%)は、意思表示カード、健康保険証意思表示欄、運転免許証意思表示欄などへの記載がありましたが、近年は健康保険証意思表示欄、運転免許証意思表示欄への記載が増えており、複数に意思表示している事例も17件(3.7%)ありました(図3)。

一方、救急病院などで医療者から終末期患者の家族への臓器提供の選択肢提示(臓器提供に関する本人の意思がなかったかどうか、また家族が臓器提供について移植コーディネーターの説明を聞く希望があるかどうかを尋ねること)、臓器提供マニュアルの整備・院内勉強会の開催・院内シミュレーションの実施など病院内の体制整備、各学会と連携し医師・看護師・検査技師・ソーシャルワーカーなどを対象としたセミナー(実習を中心とした研修会)の開催など、各病院との協力体制を構築できるような取り組みを積極的に進めています。

図1 臓器提供件数の年次推移

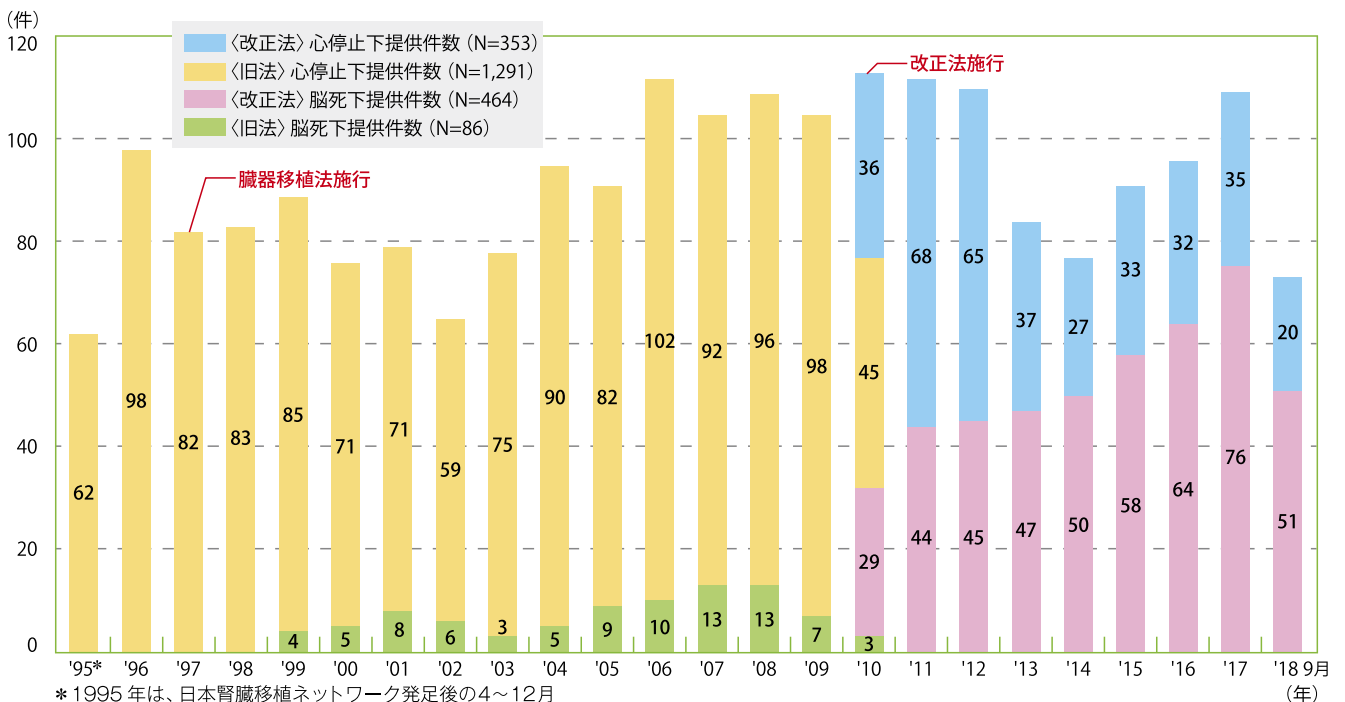




図2 脳死下臓器提供件数の推移と意思表示 (1997年10月16日～2018年9月30日、提供550件)

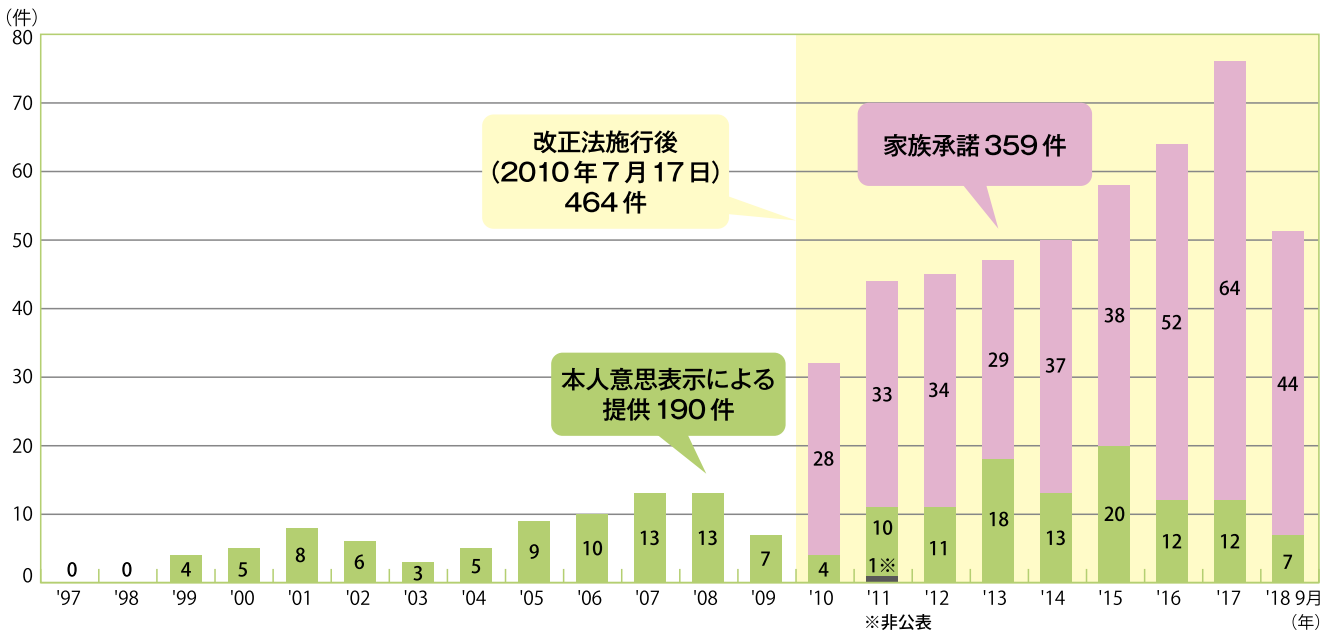


図3 脳死下臓器提供者の本人の意思表示 (改正臓器移植法施行前後の比較) (1997年10月16日～2018年9月30日、提供550件)

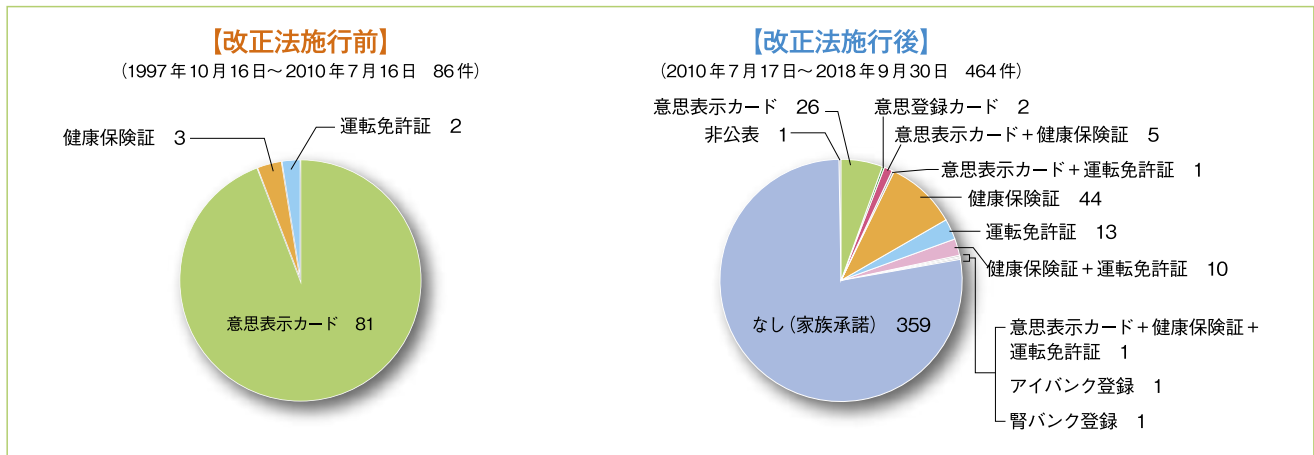
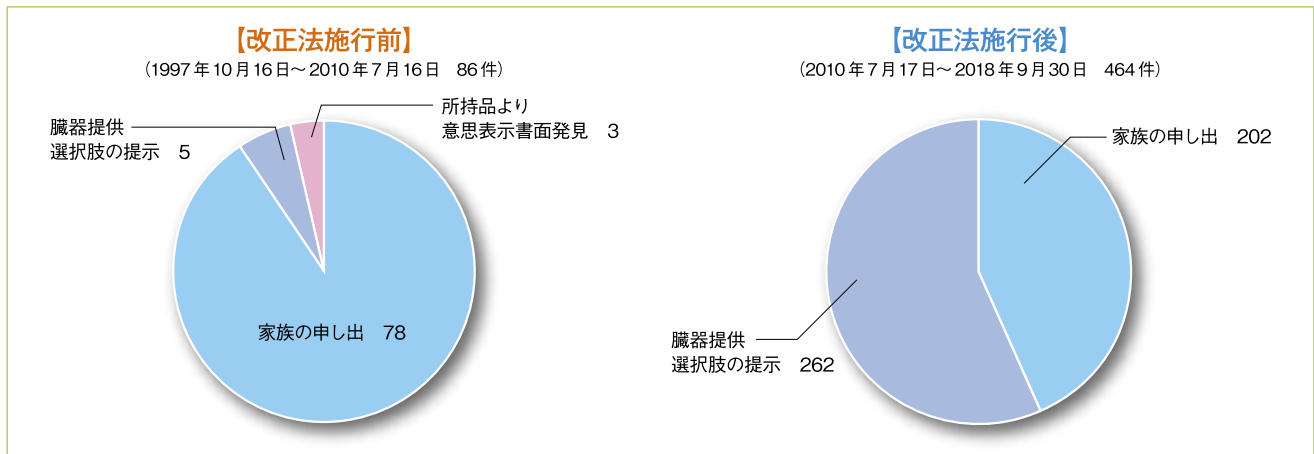


図4 脳死下臓器提供のきっかけ (改正臓器移植法施行前後の比較) (1997年10月16日～2018年9月30日、提供550件)



このような協力体制の構築により、改正臓器移植法施行後、脳死下臓器提供において、臓器提供の選択肢提示がきっかけとなった事例が5.8%から56.5%に顕著に増加し、年々割合が増加しています(図4)。

なお、本人の意思が不明の場合には、拒否の意思表示がないことを確認するため家族から本人の人柄や日頃の様子を伺い、健康保険証や運転免許証の意思表示やインターネットによる臓器提供意思登録について慎重に確認します。家族が承諾した理由は様々ですが、「本人の意思を尊重したい」、「人の役に立ちたい、社会貢献をしたい」、「どこかで生き続けてほしい」などの思いがあります。家族が臓器提供を考えるとときに、本人の意思の存在が頼りになり支えになることもあります。

図5 移植希望登録者統計 (2018年9月30日現在)

	希望登録者数	
	希望登録者数	内訳
心臓	714	内、心肺同時 3
肺	336	内、心肺同時 3
肝臓	332	内、肝腎同時 23 内、肝小腸同時 0
腎臓	12,007	内、肝腎同時 23 内、脾腎同時 169
脾臓	212	内、脾腎同時 169
小腸	2	内、肝小腸同時 0

※ 各臓器の移植希望者には、多臓器同時移植希望者を含む

図6 臓器移植件数 (1995年4月~2018年9月、移植5,412件)

	'95'	'96'	'97'	'98'	'99'	'00'	'01'	'02'	'03'	'04'	'05'	'06'	'07'	'08'	'09'	'10'	'11'	'12'	'13'	'14'	'15'	'16'	'17'	'18 ~9月	合計
心臓	-	-	0	0	3	3	6	5	0	5	7	10	10	11	6	23	31	28	37	37	44	51	56	40	413
心肺同時	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
肺	-	-	-	0	0	3	6	4	2	4	5	6	9	14	9	25	37	33	40	41	45	49	56	47	435
肝臓	-	-	0	0	2	6	6	7	2	3	4	5	10	13	7	30	41	40	38	43	55	54	62	42	470
肝腎同時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	1	2	2	3	7	2	18	
脾臓	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	1	1	4	4	0	2	6	9	9	5	4	5	8	2	62
脾腎同時	-	-	-	-	0	1	6	2	1	5	5	8	8	6	7	23	29	18	24	24	32	33	35	25	292
腎臓	118	183	159	149	158	145	145	122	135	168	155	189	179	204	182	186	182	174	130	101	133	141	156	109	3,703
小腸	-	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	4	3	0	1	0	0	1	0	2	16
合計	118	183	159	149	163	158	170	141	141	185	177	219	222	253	213	293	329	303	281	253	315	338	380	269	5,412

\* 1995年は、日本腎臓移植ネットワーク発足後の4~12月

## 臓器移植件数の推移と成績

2018年9月末現在、移植を希望して登録している方々は、心臓714名、肺336名、肝臓332名、脾臓212名、腎臓12,007名、小腸2名、合計13,603名です(図5)。

一方で、1995年4月から2018年9月末までに臓器移植を受けられた方々は、心臓移植413名、肺移植435名、心肺同時移植3名、肝臓移植470名、肝腎同時移植18名、脾臓移植62名、脾腎同時移植292名、腎臓移植3,703名、小腸移植16名の計5,412名となっています(図6)。特に2016年以降は、心臓移植、肺移植、肝臓移植で50名を超え、2017年は年間最多の合計380名の方々が移植を受けるに至りました。





2018年4月より小腸移植も他の臓器移植と同様、健康保険の適用が認められました。

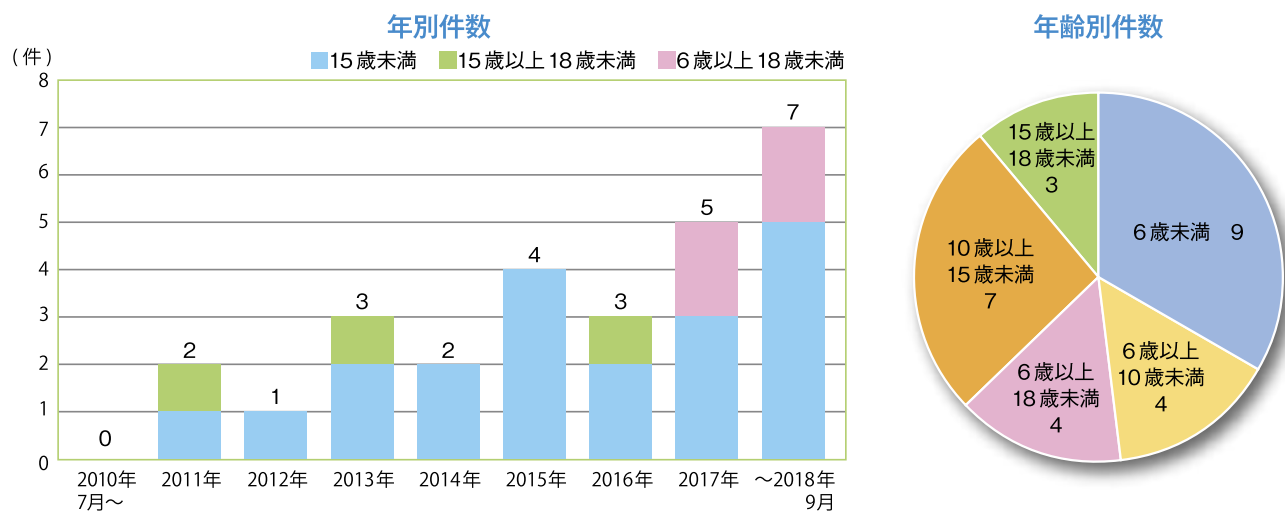
また、移植後5年で移植者が生存している割合（生存率）は、心臓91.9%、肺72.0%、肝臓83.0%、膵臓95.3%、腎臓91.8%、小腸70.7%であり、移植後5年で臓器が機能している割合（生着率）は、心臓91.9%、肺70.6%、肝臓82.8%、膵臓75.2%、腎臓77.7%、小腸62.9%（詳細P. 5～6参照）です。移植手術を受けた後に、感染症や拒絶反応などが原因で移植臓器の機能が廃絶する場合や亡くなってしまう場合も少なからずありますが、多くの方々は移植後の経過も良好で退院し、外来通院をしながら学業や仕事などの社会復帰を果たしており、諸外国と比較しても良好な成績です。

## 小児脳死下臓器提供と移植の現状

改正臓器移植法施行に伴い小児の脳死下臓器提供が可能となりましたが、特に家族の心情に配慮しつつ、虐待の除外や厳密な法的脳死判定の実施など慎重な対応が求められています。そのような状況において、2018年9月末までに、18歳未満からの脳死下臓器提供が27件あり、合計121名の方々が移植を受けることができ、多くの小児登録者が移植を受けるに至っています（図7）。

ご提供された方々の年齢別では、6歳未満9件、6歳以上10歳未満4件、6歳以上18歳未満4件、10歳以上15歳未満7件、15歳以上18歳未満3件でした。また、心臓移植は、これまでも18歳未満の提供者からは18歳未満の登録者が優先されるレシピエント選択基準となっておりますが、腎臓移植も2018年3月20日より20歳未満の提供者から20歳未満の登録者を優先され、肝臓移植も2018年11月1日より18歳未満の提供者から18歳未満の登録者が優先される選択基準に改正されました。

図7 18歳未満 脳死下臓器提供（2010年7月～2018年9月、N=27）



	心臓	肺	肝臓	腎臓	膵臓	小腸	合計
移植件数	22	22	26	30	18	3	121
内、18歳未満	20	11	15	8	0	2	56

## 2 移植者の現状



### 【心臓・心肺同時移植】

#### 【心臓・心肺同時移植】生存・生着率

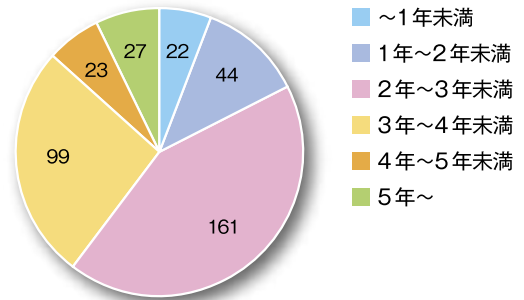
N=376  
内、心肺同時移植N=3(1997.10~2017.12)

	1年	2年	3年	4年	5年
生存率	96.2%	95.2%	94.4%	93.0%	91.9%
生着率	96.2%	95.2%	94.4%	93.0%	91.9%

心臓移植・心肺同時移植者(1997年10月~2017年12月、376件)の平均待機期間(登録日から移植日までの期間)は、1099.7日(約3年)でした。また、移植後5年後の生存率及び生着率はそれぞれ91.9%でした。

#### 心臓・心肺同時移植を受けられた方の待機期間

N=376(1997.10~2017.12)



移植までの平均待機期間：1,099.7日



### 【肺・心肺同時移植】

#### 【肺・心肺同時移植】生存・生着率

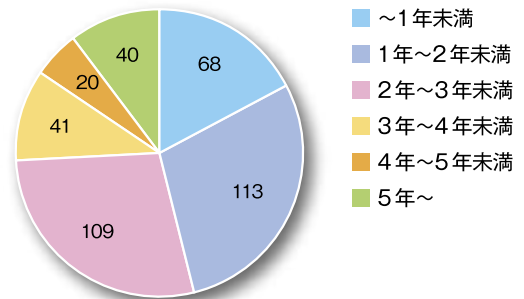
N=391  
内、心肺同時移植N=3(1997.10~2017.12)

	1年	2年	3年	4年	5年
生存率	87.8%	84.4%	79.6%	76.5%	72.0%
生着率	87.5%	83.9%	79.1%	75.6%	70.6%

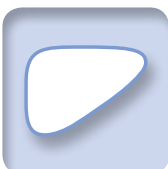
肺移植・心肺同時移植者(1997年10月~2017年12月、391件)の平均待機期間は、906.8日(約2年5ヶ月)でした。また、移植後5年後の生存率は、72.0%、生着率は70.6%でした。

#### 肺・心肺同時移植を受けられた方の待機期間

N=391(1997.10~2017.12)



移植までの平均待機期間：906.8日



### 【肝臓・肝腎同時移植】

#### 【肝臓・肝腎同時移植】生存・生着率

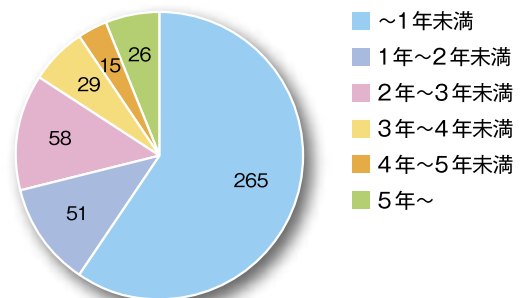
N=444  
内、肝腎同時移植N=16(1997.10~2017.12)

	1年	2年	3年	4年	5年
生存率	89.2%	85.5%	85.2%	83.6%	83.0%
生着率	88.6%	84.9%	84.5%	83.3%	82.8%

肝臓移植・肝腎同時移植者(1997年10月~2017年12月、444件)の平均待機期間は、509.0日(約1年4ヶ月)でした。また、移植後5年後の生存率は、83.0%、生着率は82.8%でした。

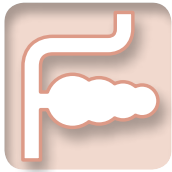
#### 肝臓・肝腎同時移植を受けられた方の待機期間

N=444(1997.10~2017.12)



移植までの平均待機期間：509.0日





## 【膵臓・膵腎同時移植】

### 【膵臓・膵腎同時移植】生存・生着率

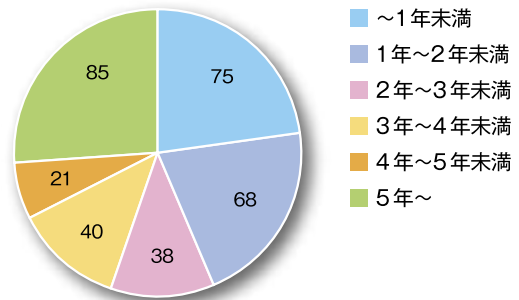
N=327  
内、膵腎同時移植N=267(1997.10～2017.12)

	1年	2年	3年	4年	5年
生存率	96.2%	95.8%	95.8%	95.3%	95.3%
生着率	84.8%	82.3%	79.0%	76.9%	75.2%

膵臓移植・膵腎同時移植者(1997年10月～2017年12月、327件)の平均待機期間は、1,264.1日(約3年5ヶ月)でした。また、移植後5年後の生存率は、95.3%、生着率は75.2%でした。

### 膵臓・膵腎同時移植を受けられた方の待機期間

N=327(1997.10～2017.12)



移植までの平均待機期間：1,264.1日



## 【小腸移植】

### 【小腸移植】生存・生着率

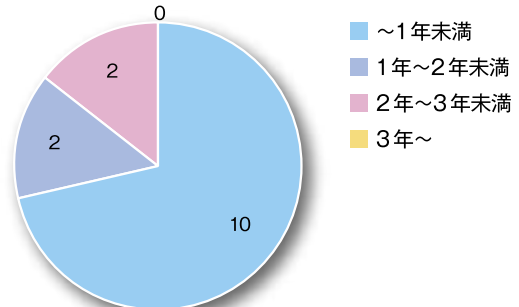
N=14(1997.10～2017.12)

	1年	2年	3年	4年	5年
生存率	85.7%	70.7%	70.7%	70.7%	70.7%
生着率	85.7%	70.7%	70.7%	62.9%	62.9%

小腸移植者(1997年10月～2017年12月、14件)の平均待機期間は、371.7日(約1年)でした。また、移植後5年後の生存率は、70.7%、生着率は62.9%でした。

### 小腸移植を受けられた方の待機期間

N=14(1997.10～2017.12)



移植までの平均待機期間：371.7日



## 【腎臓移植】

### 【腎臓移植】生存・生着率

N=3,877  
内、肝腎同時移植N=16、膵腎同時移植N=267(1995.4～2017.12)

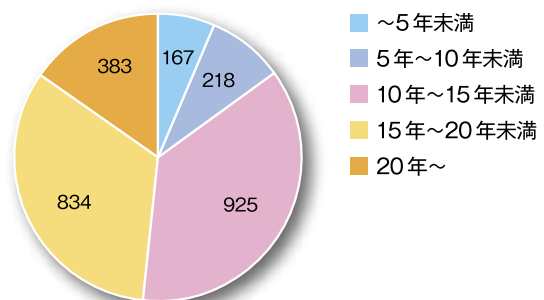
	1年	2年	3年	4年	5年
生存率	96.7%	95.3%	94.1%	92.8%	91.8%
生着率	89.3%	86.1%	83.4%	80.4%	77.7%

腎臓移植者(レシピエント選択基準改正後2002年1月10日～2017年12月、膵腎同時移植者・肝腎同時移植者を除く2,527件)の平均待機期間は、5,367.4日(約14年8ヶ月)でした。また、移植後5年後の生存率は、91.8%、生着率は77.7%、移植時の平均年齢48.7歳でした。

2017年は156件の腎臓移植が行われ、移植時の平均年齢51.4歳(最年少3歳、最年長73歳)、16歳未満の小児待機者への移植は11件、16歳以上20歳未満への移植は2件でした。

### 腎臓移植を受けられた方の待機期間

(膵腎同時・肝腎同時移植を除く)  
N=2,527(2002.1.10～2017.12)



移植までの平均待機期間：5,367.4日

### 3 レシピエントの個人情報の取り扱いと利用についてご了解いただきたいこと

日本臓器移植ネットワークで扱う個人情報を含む記録は、各種法令や倫理指針に基づいた社団規程を守った上で、個人情報保護方針に従い下記の通り利用されます。

現在登録されているデータ内容を含め、移植を受けた後の臓器機能データ、薬剤の使用状況、合併症、社会復帰状況、転帰などについても、移植担当医にデータの提供をお願いしております。

臓器移植希望の登録申請をされた場合には、これらのデータの利用及びデータ提供に同意したものとしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

**【利用目的】**

- ・臓器移植のあっせん業務に利用します。
- ・あっせん業務の質の向上を目的として行う研修等に利用します。
- ・あっせん業務の維持・改善などの経営分析のための基礎資料として利用します。
- ・移植医療の質の向上を目的として行う調査・研究等として利用します。

**【第三者への提供】**

- ・あっせん業務を遂行するために、臓器提供施設、臓器移植施設、検査施設や外部の医師等へ登録情報を提供します。
- ・移植医療の質の向上を目的として行う調査・研究等のために個人を特定できないように加工したデータ(匿名加工情報)を、大学その他の研究機関、学会等に提供することがあります。

**公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク**

〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦12階  
TEL:03-5446-8800 FAX:03-5446-8818  
受付時間 月～金曜日 9:00～17:30(土日・祝日・年末年始を除く)

**【公益社団法人日本臓器移植ネットワーク 個人情報保護方針】**

当社は、個人情報保護の重要性を認識し、「臓器の移植に関する法律」等関係法令に則った臓器のあっせんを目的とし、これまで以上に細心の注意を払い、下記の取り組みを実施いたします。

当社は、厚生労働大臣より業として行うあっせんの許可を受けており、厚生労働省及び国会等への報告義務があります。また、その社会的責務として、業務の維持・改善のための基礎資料作成、移植医療の質の向上を目的とした教育・研修・研究等を行っており、収集した個人情報をこれらの目的に用いることがありますが、個人情報の保護には厳重に注意を払います。

1. 個人情報について、その管理責任者を設置し、取扱いを定めて、適正な保護を行います。
2. 当社の業務を行う上で必要な個人情報は、その収集と利用の目的、管理方法と相談窓口を明確にして、適切な手段で収集し管理いたします。
3. 個人情報は、上記の利用目的の達成に必要な範囲で利用いたします。なお、目的以外の利用を行う場合は、法律に基づく命令及び関係法令で定める除外項目を除き、本人の同意を得るものといたします。

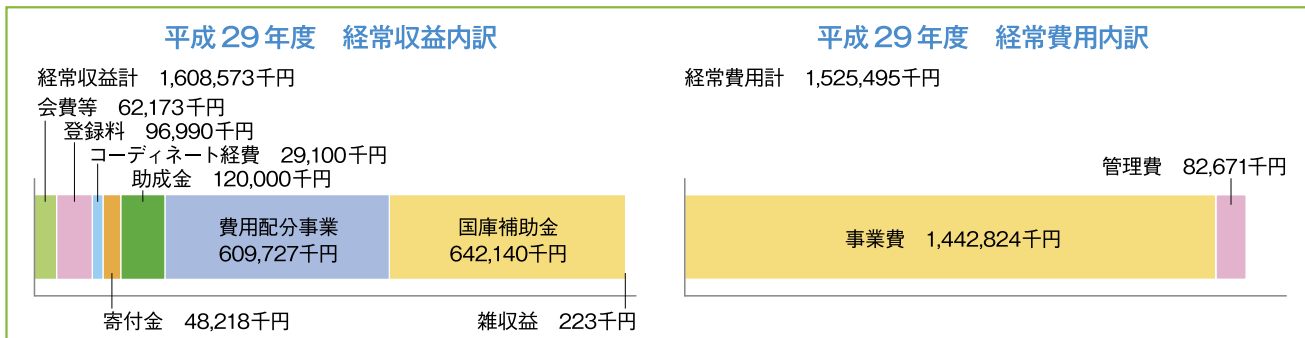
4. 取得した個人情報は、法令に基づく命令及び関係法令で定める除外項目を除き、あらかじめ本人の同意を得ることなく第三者に提供することはありません。
5. 個人情報への不正なアクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどのリスクに対しては、適切な安全対策を講じます。万一の問題発生時は速やかな是正対策を講じます。
6. 個人情報を取り扱う業務を外部の業者に委託する場合、個人情報を収集するときの承諾に基づく利用、提供、安全管理を守るように、委託先に対する適切な契約や指導・管理を行います。
7. 個人情報の開示、訂正、提供範囲の変更や削除を本人から依頼された場合には、合理的な範囲で速やかに対処いたします。
8. 当社が保有する個人情報に関して法令、規制を遵守するとともに、適正な適用が実施されるよう管理と必要な是正を行い、職員の教育・研修を徹底した上で、個人情報保護の取り組みを継続的に見直し、改善していきます。
9. 当社において、学術研究及び制度改善等の用に供する目的として、症例データ等の個人情報を大学その他の研究機関、学会等の第三者に提供することがあります。その場合、「匿名加工情報保護方針」に基づき個人情報を匿名化しますので個人が特定されることはありません。

(平成29年12月改定)

### 4 財政状況の報告(平成29年度)

平成29年度の経常収益計は、1,608,573千円でした。その内訳は、会費等収益62,173千円、登録料収益96,990千円、移植を受けられた方から受領するコーディネート経費収益29,100千円、寄付金収益48,218千円、助成金収益120,000千円、費用配分事業収益609,727千円、国庫補助金収益642,140千円、雑収益223千円でした。

一方、経常費用計は、1,525,495千円でした。その内訳は、事業費1,442,824千円、管理費82,671千円でした。



3 レシピエントの個人情報の取り扱いと利用についてご了解いただきたいこと

4 財政状況の報告(平成29年度)



# 5 普及啓発の概要

臓器提供は、本人の意思が不明な場合でも家族の承諾があれば可能です。もしものときに家族が判断に迷ったり困ったりしないためにも、家族と話し合い、意思表示を促進する普及啓発を展開しています。

臓器提供に関する意思表示は、健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードに記入欄があり、その他、意思表示カードに記入したり、JOTホームページからインターネットで意思登録することもできます。最新の内閣府世論調査（平成29年8～9月）では、死後に臓器を提供したい方が約43%であるにもかかわらず、意思表示している方はわずか約13%。意思表示を促進するために、健康保険証、運転免許証、マイナンバーカード等の発行窓口には、説明用のリーフレットを配布しています。また、各地のタクシー協会のご支援により、グリーンリボンドライバーステッカーの貼付・走行による一般ドライバーや乗客への周知や、日本薬剤師会のご支援により、調剤薬局店舗等でのポスターの掲示やリーフレットの設置協力、グリーンリボンピンバッジの着用など、様々な取り組みを続けています。

毎年10月の臓器移植普及推進月間を中心に、グリーンリボンキャンペーンを展開しています。10月16日は、家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、互いの臓器提供に関する意思を確認する日「グリーンリボンデー」です。この日に合わせて東京タワーや全国各地のランドマークをグリーンにライトアップし「全国GREEN LIGHT-UP Project～患者さんに希望の光を届けよう。～」を展開しました。また、今年はグリーンリボン・チャリティーウォッチの制作・販売や全国各地で様々なイベントが行われ、その様子はキャンペーンサイトやFacebookで広く周知しています。詳細はキャンペーンサイトをご参照ください。

そして、今年度はACジャパンの支援キャンペーンにより、テレビやラジオCM、新聞、雑誌、交通広告を展開しています。吉本新喜劇のすっちーさんと吉田裕さんにご出演いただき、家庭で身近に臓器移植医療を考え、家族で臓器提供に関する意思表示について話し合っただけのようインパクトのある軽快な掛け合いで呼びかけています。

また、11月には教育者向けに臓器移植を題材とした「いのちの教育」セミナーを東京都と京都府で開催しました。今年度より道徳が教科化されたことを受け、そのテーマとして適した臓器移植について、子どもの頃から理解し考える授業の実践をしていただくことを目的としています。今後、継続して他地域でも開催する予定です。

今後も、家族で話し合い、意思を表示しておくことの大切さを周知し、社会に臓器移植医療の理解が広がることで、一人でも多くの方の命が救われますよう取り組みます。

● 消しゴム付き鉛筆



● think transplant vol.35～37 臓器移植体験者と臓器提供ご家族の手記



● ACジャパン2018年度支援キャンペーン「意思表示すんのかいせんのかい」ポスター



● GREEN LIGHT-UP Project



- JOT公式サイト <http://www.jotnw.or.jp>
- グリーンリボンキャンペーンサイト <http://www.green-ribbon.jp>
- Facebook <http://www.facebook.com/GreenRibbon.jp>

# NEWS LETTER

## 寄付によるご支援をお願いいたします



臓器移植の普及啓発には、皆様からのご支援が必要です。寄付をいただいた場合は、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくはホームページをご覧ください。



### 臓器移植やご支援に関するお問い合わせ

 **0120-78-1069** (平日: 9:00~17:30)

ホームページにもさまざまな情報が掲載されています。

 **公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク**

〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦12階  
TEL 03-5446-8800 / FAX 03-5446-8818

<http://www.jotnw.or.jp>



臓器移植

検索